

高齢者交通事故防止の取組みに鳥取県・亀井副知事から御礼挨拶

～鳥取県警察と連携して、「反射材付き交通安全啓発チラシ」を活用した啓発活動を実施～

日本損害保険協会鳥取損保会(会長：小林 紀子・東京海上日動火災保険株式会社 山陰支店鳥取支社支社長)は、11月14日(木)、同損保会松井 久 副会長(日新火災海上保険株式会社 鳥取支社支社長)が鳥取県庁を訪問して、鳥取県交通対策協議会に「反射材付き交通安全啓発チラシ」を3,000部贈呈しました。

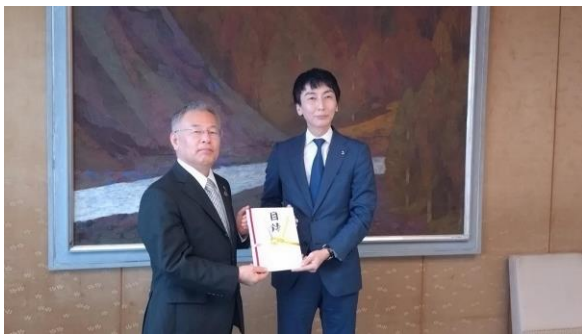
松井副会長から、「日本損害保険協会は、安心・安全な社会の実現のため、高齢者の交通事故防止を重点取組みの1つとして掲げて、積極的に取組みを進めている。残念ながら、鳥取県では、本年9月時点で、443件の交通事故が発生しており、反射材を靴やかバンに貼り付けていただくことで、少しでも交通事故が減少することを願っている。」と挨拶がありました。

次いで、松井副会長から、同協議会の副会長である鳥取県・亀井 一賀 副知事に目録が手渡されました。

亀井副知事から、「これから日が暮れる時間が早まる中、反射材は、交通事故防止に効果的である。鳥取県では、交通事故でケガをする方が増えている。贈呈いただいた「反射材付き交通安全啓発チラシ」は、年末の交通安全運動などで活用させていただきたい。」と挨拶がありました。

その後、2023年に交通事故が多発した「鳥取市幸町71番付近交差点」で、鳥取県警察と連携して、贈呈した「反射材付き交通安全啓発チラシ」を活用した啓発活動を実施しました。

当支部では、引き続き、鳥取県をはじめ関係先との連携を強化して、交通事故防止に関する活動に取り組んでいきます。



亀井副知事(左)に目録を渡す松井副会長



松井副会長の挨拶



啓発活動の様子 -1-



啓発活動の様子 -2-



反射材付き交通安全啓発チラシ表面



チラシ裏面